

## 重症筋無力症における味覚障害と抗電位依存性カリウムチャンネル(Kv)1.4抗体

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2014-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 蒲澤, 千昌 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10470/30341">http://hdl.handle.net/10470/30341</a>

様式 (6)

## 学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2799 号	氏 名	蒲 澤 千 昌
審 査 委 員 会	主 査 教 授	内 山 真 一 郎	
<p>論文審査の要旨 (400 字以内)</p> <p>多施設共同研究により重症筋無力症(MG)の味覚障害を検討した。2010 年 5 月から 9 月に多施設共同研究登録施設から 305 例 (男:女=109:196, 平均 56.4±16.9 歳)の MG を抽出した。305 例中 13 例(4.3%)に味覚障害を認めた。味覚障害のある MG で抗 Kv1.4 抗体は 7 例 (53.9%)で陽性, 胸腺腫は 9 例(69.2%)であり, 味覚障害のない患者と比較し, 有意に多かった。特に 9 例(3.0%)は MG との関連が強かった。味覚障害は甘味障害主体の解離性味覚障害で, 5 例は筋無力症状に先行, 7 例で筋無力症状と味覚障害の相関があり, 4 例は胸腺腫の再発があった。5 例で MG 治療と共に味覚障害が改善した。味覚障害を合併した MG 患者では胸腺腫, 球症状, クリーゼ経験が多く, これらは抗 Kv1.4 抗体陽性者に特徴的な所見で, 味覚障害患者では抗 Kv1.4 抗体陽性者が多いことから, 抗 Kv1.4 抗体陽性 MG の特徴を反映している可能性がある。MG の味覚障害は甘味障害が主体であり, 甘味受容体を選択的に障害するような物質の存在が推定され, 胸腺腫との関連が考えられた。</p> <p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			